

めざす子ども像 **確かなつながりの中で**

**自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標

「地域を守る人づくり」を目指し、学校・保護者・地域各種団体の連携をより一層促し、子どもたちの地域に関する「人、事、物」の様々な体験の取組を充実する。

【今年度の取組紹介】

『図書メディアセンター引越物語』

新校舎に小中共用の『図書メディアセンター』が完成しました。

3校合わせて2万冊あまりの本の選定、引越し作業が多くの人々の力を結集して行われました。奈良市立図書館の方々に指導いただき、図書ボランティアが図書冊子の箱詰め、ラベルの貼替え、ブックカバーをつける作業などががんばりました。

膨大な冊子は10数名の司書が4週間にわたり集中して配架作業を行い、データ移行、掲示を完了しました。図書委員会の生徒達はじめ、地域の“力”を結集し、『図書メディアセンター』はスタートラインに立ちました。関わったボランティアも自慢したくなる素敵な空間が誕生しました。生徒児童はもちろん、地域の方々も利用でき、ボランティアも楽しく活動できる場に育てましょう。



司書とボランティアの作業



司書とボランティアに図書委員会よりお礼

【今年度のまとめ】

- ・新型コロナウイルス感染対策の影響で予定通りに実施できない計画がありました。
- ・地域ボランティアの登録参加は維持され、地道な活動が必要に応じ継続されました。
- ・新小中一貫校開校準備のため、様々な会合や作業に協力体制をとれました。
- ・防災教育事業のイベントは中止となりましたが広報事業に力点を置き、新小中一貫校の紹介を様々な視点で子どもたち・地域・保護者に伝えることを試みました。

【来年度に向けて】

- ・地域の様々な世代に適応した広報活動のためにホームページを立ち上げ、広報紙も適時発行します。
- ・コーディネーター間の連絡・会話を密に、役割や作業分担を明確にし、活動能力を向上させます。
- ・子どもたちが発するメッセージを引き出すために、子どもたち、教職員、保護者からアンケートや生徒会、児童会と話す機会を持ち、子どもたちの力が発揮できる場を企画します。

めざす子ども像

## 確かなつながりの中で

### 自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

平城西中学校ラストイヤーとなり、地域の多くの方々との出会いやつながりをもつことによって、西中のこれまでとこれからをともに考え、よき伝統は守りつつ、子どもたちの心や夢を育む豊かな学びの場となるようにする。

#### 【今年度の取組紹介】

##### ○平城西中校区落ち葉清掃

普段お世話になっている地域をきれいにするため、校区のすべての学校園で日程調整し、分担して落ち葉清掃を行いました。中学校は生徒会が地域と協働で案内掲示を



作成し、参加呼びかけを行いました。昨年は計画を進めていたもののコロナウイルス感染症の影響で、間際で中止になりました。今年度は当日の朝はかなり冷え込んでいましたが、西中だけでも生徒と地域住民合わせて総勢90名ほどが参加しました。神功地域全体の参加者は延べ200名を超えました。力と根気のいる溝掃除など丁寧に取り組んでいた中学生に、地域の方が感謝の声をかける場面もあり、この活動を通して地域の一員としての意識を深めることができたと思われま

##### ○図書メディアセンター開室

1学期の半ばから市の図書館司書を中心に地域の図書ボランティアが集結し、平城西中学校の図書室の引越作業を行いました。2学期の集中整備を終え、子どもたちが自然と本を手に取りたくなるような素敵な図書メディアセンターが誕生しました。

#### 【今年度のまとめ】

本校では落ち葉清掃など今まで継続して実践してきた取組に加え、平城西中学校のファイナルイヤーとして、今年度ならではの閉校に向けた取組を平行して進めてきました。図書メディアセンターの開設や閉校記念誌の作成など、地域のさまざまな経験を持つ方にご参集いただき、学校と共に子どもの学びを糧にする取組を進めていただきました。無事に最終年度を乗り切ることができました。これほど地域の力に感謝した年は無いと言っていいほどでした。

#### 【来年度に向けて】

来年度も施設一体型小中一貫校開校で変化の激しい一年になることは間違いありませんが、これまで育んできた地域との協働体制を生かし、地域の様々な人材に学校の授業にも入っていただく方向で協議を進めています。学校が地域活性化のセンター的な場となるよう、取り組んでいきたいです。

めざす子ども像

**確かなつながりの中で****自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる。

## 【今年度の取組紹介】

○草引きウィーク（10月4日～8日）図書室ウィーク（12月6日～10日）

保護者・地域の方・本校教職員が協働で作業を行いました。

草引きウィークでは、80名ほどが右京小学校の運動場に集まってくださいました。草引きを中心に清掃活動をしていただいたおかげで、安全な場所で体育等の実施をすることができました。



図書室ウィークでは、30名ほどが集まって、ならやま小中学校に開設する図書メディアセンターに持っていく本の整理等を行っていただきました。



○防災体験学習



北消防署の協力を得ながら、平城西中学校区として、各学年の発達段階に応じた系統的な学習を進めています。また、教職員についても校内研修として放水訓練を実施し防災意識を高めています。

毎年行うことによって、児童の防災や地域の一員であることの意識が高まり、地域で行われる防災訓練への参加にもつながっています。

## 【今年度のまとめ】

○新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、予定していた事業をすべて実施することができませんでしたが、事業によっては内容や方法を変更し実施したところ、多くの地域ボランティアの方や保護者の協力を得ることができました。

○消防署の協力も得て、各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。

○環境ボランティアや図書ボランティアをはじめとする地域の方々の学校支援等は、学校力を高める大きな一助となっています。

## 【来年度に向けて】

○ならやま小中学校として、地域・家庭・学校をつなぐを深める取組を進め、子どもたちには自分の住んでいる町の魅力について、より知ってもらいたいと考えています。

めざす子ども像

**確かなつながりの中で****自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標 地域と共に心を耕し、夢を育む神功の子 ～学びの場をともに豊かに！～

## 【今年度の取組紹介】

## ●おはなしかい

例年1・2年生の各学級で、読み聞かせボランティア「おはなしくれよん」のみなさんによる「おはなしかい」を月に1回行っています。今年度はそれに加え、3～6年生の各学級でも、朝の学習の時間に「おはなしかい」を行いました。高学年の子どもたちもお話の世界に入り込んで、聴き入っていました。図書室の利用制限により読書の機会が限られる中で、子どもたちの心を耕す貴重な機会となりました。



## ●花の苗植え

例年12月頃に5・6年生の栽培・飼育委員の児童がチューリップの球根やパンジーなどの苗を植え付けていますが、今年度は園芸ボランティアのみなさんに植え方を教えていただきながら、児童とボランティアと一緒に植え付けを行いました。教えていただくことで、例年よりも上手に植えることができ、子どもたちは花が咲くのを楽しみにして、毎日水やりを行っています。



## ●校外学習の引率ボランティア

1・2年生の「まちたんけん」、3年生の「校区たんけん」と「消防署見学」など、本校区やその周辺を歩いて学習する際に、毎回数名の方に参加してもらいました。移動時の安全を見守っていただき、子どもたちと共感・感動しながら活動に参加していただきました。

## 【今年度のまとめ】

今年度も新型コロナウイルス感染症の流行により活動に大きな制限が加わり、活動回数が少なくなったり、活動の在り方の見直しを行ったりしました。それにより、地域の方々やゲストティーチャーと子どもたちの関わりの中から生まれる「豊かな体験・学びの場」の尊さに、改めて気づかされました。また、コロナ禍ではありながらも、感染防止対策を徹底し実施方法を工夫することで、活動によっては実施を継続できることがわかりました。

## 【来年度に向けて】

今年度で神功小学校運営委員会は閉会となりますが、これまで蓄積してきた取組のよさを引き継ぎ、新しいならやま小中学校でも取り組んでいきたいと思ひます。

**めざす子ども像** **確かなつながりの中で****自ら学び続ける心豊かなたくましい子****取組目標** **地域の方とのつながりを感じながら  
子どもたちの遊びや生活の刺激となるような事業の充実****【今年度の取組紹介】**

## ○ 教育支援事業（栽培活動）

3歳児が地域の方とともにプランターにパンジーの花を植えました。3歳児の子どもたちにとって苗植えは初めての経験で、苗ポットから苗を取り出そうとしてもなかなかうまく取り出すことができませんでした。それに気づいた地域の方から「こうするんだよ」と苗の取り出し方を教えてもらい、自分でできるようになると「やった、できた」と喜ぶ姿が見られました。「どこに植えようかな」「私は、このお花が好き」と地域の方と話をしながら、苗を全て植え終わりました。次は、プランターを運ぶ作業です。「どこに持っていく」「あそこがいいね」と友達と一緒に運ぶ姿を地域の方に「すごいね」「力もちだね」と認められ、より一層はりきる子どもたちでした。

次の日から登園すると、「お水あげよう」と毎日、自分たちで植えた花に水やりをし、生長を楽しみにする姿が見られました。

**【今年度のまとめ】**

コロナ禍のため、できるだけ戸外での活動を重視し、計画・実施しました。特に地域の方とともに行う栽培活動や環境整備活動では、地域の方と一緒に活動するなかで親しみをもつようになり、自分から挨拶したりお礼を言ったりする姿が見られました。また、地域の方から「すごいね」「ありがとう」など受容されることで、より意欲的に活動するようになり、このような継続した活動を通して地域の人とのつながりを感じる機会になりました。

**【来年度に向けて】**

コロナ禍でも地域の教育力を活かした教育・保育内容を工夫しながら進めていきたいと思えます。そして子どもたちが地域とつながり、見守られている安心感を味わうことができるようにしていきたいです。

めざす子ども像

**確かなつながりの中で****自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標

地域の方との関りを通して、自然の面白さや美しさを感じたり、身近な人に親しみ「やりたい！やってみよう！」と思う意欲を育てていく

## 【今年度の取組紹介】

## ☆おはなしの会

今年度も新型コロナウイルス感染対策を行いながら“右京おはなしの会”を開催しました。年間を通して8回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、5回の開催となりました。開催するにあたっては開催時間を短くして消毒を行いながら歳児級ごとに会を進めました。また、距離や間隔をあけて開催する際は対策を講じながら行いました。子どもたちにとって、あたたかい空気間のなか、子どもたちの歳児級に合わせた内容で行っていただきました。また、季節に合わせた内容のお話や歌もあり子どもたちは、おはなしの会の世界に引き込まれていました。



## ☆運動あそび

社会環境や生活様式の変化から現代の幼児は身体を動かして遊ぶ機会が減少しているということを踏まえ、今年度も、体操講師による運動あそびを5回開催しました。サーキット遊びやのドッチボールなど楽しく体を動かす遊びを通して基礎的な体力や身体能力を発達させ、様々な活動への意欲につなげる機会となりました。



## ☆野菜の苗植え・収穫



地域ボランティアの方に来ていただき、3、4、5歳児の園児とサツマイモの収穫を行いました。掘方を教えてもらいながら、地域の方々との交流を深める機会となりました。また、収穫した芋は園庭で地域の方とサツマイモパーティを行いました。玉葱の苗植えも行いました。



☆おもちゃ棚作り

## 【今年度のまとめ】

今年も地域の方との関わりの中で、園の教育保育活動では経験できない体験や交流をさせていただくことが出来ました。コロナ禍の為、予定していたことが中止になるなどもありましたが、地域の方々との連絡を取りながら、当初計画していた活動全ては行えませんでした。子どもたちと職員とも交流を深めながら楽しんで取り組むことが出来ました。野菜の育ち方について相談に乗ってもらったり、子どもたちとも交流を深めたりする中で、子どもたちの発表会に来てもらうことで子どもたちにとっても地域の方々を身近に感じることができました。地域の方々の温かいまなざしとご理解・ご協力により実現できたことに深く感謝しております。

## 【来年度に向けて】

コロナ禍の為、思うように進まなかった部分もある絵本の補修や整理、野菜栽培活動を地域の方々との取り組みたいと思います。そしてその場所が子どもたちと地域の方にとって集いの場となり、より一層交流が深められたらと考えています。その他にも、子どもたちの心を豊かに育むために、保護者会や地域の方々と共に話し合う中で子どもたちが楽しめるイベント等も開催し、より一層地域に根ざしたこども園にしていきたいと思っています。